

想いをかたちに

組合員とともにつくるコープ商品

牛乳や豆腐、冷凍食品にお菓子……。コープはさまざまなオリジナルの商品を提供しています。コープ商品には考え方や大切にしていることがあり、その基準に基づいて商品を開発・提供しています。



コープ商品って？

コープ商品が誕生したのは1960年。第1号の「生協バター」が発売された当時は高度経済成長期で、急激に暮らしが豊かになっていくものの、物価が上がり家計を圧迫していました。生協は、より手頃な価格で確実に商品を提供することを目指し、生産者と提携。初めて「CO・OP」の名を冠する商品が誕生したのです。以来、生協は組合員の声を聞き、想いを“かたち”にしながら、生産者や組合員とともにふだんの暮らしに役立つ商品を開発・提供してきました。

このマークもチェック！ コープの〇〇シリーズ

商品のコンセプトや特徴をわかりやすく表示し、気になる情報をマークで見やすくしました。お気に入りのシリーズを、ぜひチェックしてみてください。

例えば



コープクオリティ

原材料や製造方法にこだわった、おいしさの理由が明らかな商品シリーズ。組合員モニターの8割以上が「おいしい」と評価した商品が選ばれます。



きらきらステップ&きらきらキッズ

離乳食期・幼児食期向けの「きらきらステップ」シリーズと、3～6歳向けの「きらきらキッズ」シリーズ。お子さまの初めての食に対する組合員の悩みを解消し、子どもの成長とそれを見守るママ&パパを応援しています。



特定原材料を使わない

食物アレルギーを引き起こす物質のうち、特に悩みが多い「特定原材料」を使っていない商品シリーズ。アレルギーがある人もその家族も、「一緒に食べる」ことでみんなが笑顔になれる食事作りをサポートします。

今回の取り組みは、目標12：

つくる責任 つかう責任

につながっています。

12 つくる責任 つかう責任



5つの約束

組合員の「想い」には、声にならないもの、言葉にできないものもあります。
そうした想いもくみ上げ、組合員一人ひとりの「食べるしあわせ」を実現していく。

ふだんのくらしをよりよくし、コープ商品が信頼され続けるために
ずっと大切にしている価値、それが「5つの約束」です。

約束 1

安全と安心を大切に、 よりよい品質を追求する

新しいコープ商品を開発する際は、科学的な考え方に基づいて原材料の品質や賞味期限の根拠などを細かくチェック。実際に製造する際も初回の生産に立ち会うほか、随時工場の点検を行っています。開発時やお申し出の発生時などに検査を行い、組合員の視点に立って確認しています。



写真はイメージです

約束 2

おいしさと使いやすさを追求する

コープ商品は、すべての商品に組合員の声を取り入れています。ご要望やお問い合わせを受けるだけでなく、アンケートや座談会、試食しての評価など、さまざまな形で組合員の「声」を集めています。集めた「声」は、さらにおいしく、より使いやすいするための改善に生かしています。



声
おいしいですが、
たれの量が多いです

組合員モニターに試食していただき、たれの味わいと量(15⇒12ml)を改善しました(2026年4月リニューアル予定)

約束 3

持続可能な社会やくらしに貢献する

環境や人、地域、社会に配慮した商品の開発を進め、人権や環境に配慮した方法で作られた商品を組合員の皆さんにお届けできるようにしています。また健康的な食生活を応援する商品開発を進めています。



「コープサステナブル」シリーズは、環境や社会に配慮した主原料を使った商品に共通のロゴマークを付け、組合員の皆さんが一目でわかるようにしています。

約束 4

利用しやすい価格を実現する

品質や持続可能性を追求しながら、全国の生協で力を合わせて商品調達から生産、配送などの効率性を追求し、利用しやすい価格を実現します。

約束 5

わかりやすい表示と情報を提供し続ける

誰にでもわかりやすい表示を追求します。またくらしの中で役立つように、商品に関する情報を売り場やWebやSNSを通じてわかりやすく伝えます。

コープデリグループは、事業と活動を通して「SDGs(持続可能な開発目標)」の達成を目指しています。

